

## イノトランス 2016 に鉄道総研の研究活動成果を展示します

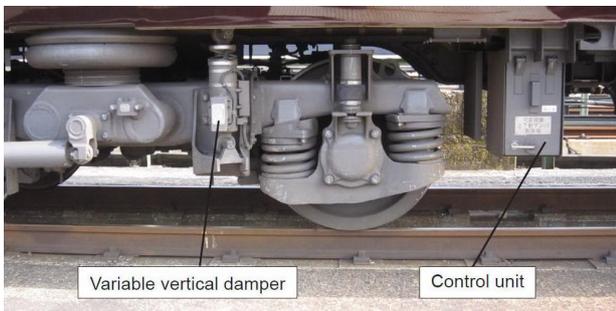
平成 28 年 9 月 1 2 日  
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所(以下、鉄道総研)は、平成 28 年 9 月 20 日～23 日に、ドイツのベルリンで開催されるイノトランス 2016 において、最新の研究活動成果を展示しますので、お知らせいたします。

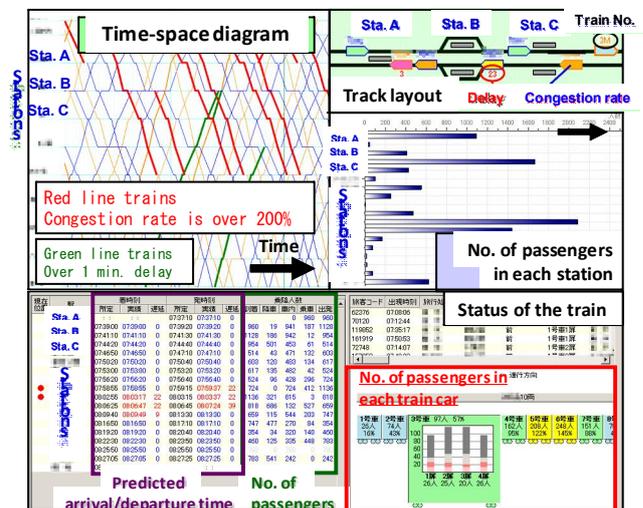
イノトランスは、ドイツのベルリン近郊の国際見本市会場「メッセ・ベルリン」において 2 年に一度開催される世界最大の鉄道技術専門見本市であり、前回のイノトランス 2014 には 146 ケ国から約 13 万人の来場がありました。鉄道総研は、日本の鉄道の魅力と技術的競争力を高めるため、最先端あるいは独自性の高い技術開発成果を世界に向けて発信いたします。

展示ブースでは、「鉄道技術の最先端：持続可能な鉄道の実現に向けて」というテーマで下記の展示を行います。

1. 鉄道総研の一般的な紹介
2. 最新の研究活動成果
  - ・ 環境評価技術：車両空力音の予測評価方法
  - ・ 乗り心地向上：可変減衰上下動ダンパ
  - ・ 利便性向上に資する分析技術：列車運行・旅客行動シミュレータ
3. 鉄道国際規格センターの活動と国際標準化への取り組み



車体の上下振動を抑制する可変減衰上下動ダンパ



旅客視点での列車ダイヤ評価に活用可能な列車運行・旅客行動シミュレータ画面